



仙北市保健課

(こども家庭センター)

妊娠期から子育て期までの
切れ目ない支援をします。

妊娠



出産



乳幼児期



【電話相談 / 仙北市保健課】

◀固定電話▶ 0187-43-2252

◀携帯電話▶ 080-2813-0835

防ごう！こどもの事故

こどもは成長とともにできることが増えていきますが、その一方で事故にあう機会も多くなります。今回は、こどもの事故を防ぐために起こりやすい事故とその予防方法についてご紹介します。

窒息・誤飲

手に触れるものは何でも口に持っていく時期は特に注意が必要です。親指と人差し指で作る輪に入る大きさのものはこどもの口に入ってしまう。

＜予防方法＞

- ・やわらかい寝具にうつ伏せで寝かせない。
- ・ボタン電池・医薬品・たばこ・化粧品などはこどもの手の届くところに置かない。

転落・転倒

こどもは頭が大きいので、バランスを失って転倒・転落しやすい特徴があります。

＜予防方法＞

- ・抱っこ紐を正しく装着する。
- ・ベビーベットの柵は常にあげておく。
- ・転落が起きそうな場所に柵を設置する。
- ・ベランダや窓の近くに踏み台になるものを置かない。

水の事故

小さなこどもは、洗面器などにたまった水でも溺れてしまいます。お風呂場やプールでも注意が必要です。

＜予防方法＞

- ・洗面器や洗たく機などに水をためたままにしない。
- ・水遊びは大人が付き添い、こどもから目を離さない。
- ・お風呂場のドアに鍵などをかける。



自動車関連の事故

チャイルドシートの未使用による事故、ドアや窓に挟まれる事故に注意が必要です。

＜予防方法＞

- ・チャイルドシートを正しく使用する。
- ・車のドアや窓を閉めるときは、こどもの手などが出ているか確認する。
- ・窓のロック機能を使う。



熱中症

室内でも熱中症は発生します。こどもは体温調節機能が未熟なので、大人より熱中症になりやすいです。

＜予防方法＞

- ・こまめに水分補給をする。
- ・室温 28℃を目安に扇風機・クーラーを使用する。
- ・夏場のベビーカー使用時は、背中に保冷剤を当てるなどして、長時間の使用は避ける。
- ・短時間でも車内にこどもを放置しない。

やけど

やけどをした部分が「広い」「深い」ほど危険です。テーブルクロスやコンセントを引っ張ってお湯をかぶってしまうこともあります。

＜予防方法＞

- ・カップ麺の容器、炊飯器、アイロン、ライターやマッチ、コンセントなど、こどもの手の届くところに置かない。
- ・テーブルクロスを使用しない。

もしもの時の「救急法」

・反応(意識)がない ・呼吸が止まっている ・心臓が止まっている 時は、

心肺蘇生が必要です。

＜胸骨圧迫＞

胸の厚さが3分の1くらい沈む強さで、1分間に100～120回の速さで行います。

幼児⇒胸骨の下半分を、手のひらの根本で押す。

乳児⇒左右の乳頭を結んだ線の中央で少し足側を指2本で押す。

＜人工呼吸＞

あごを上げ顔が少しのけぞるようにして気道を確保し、1秒間かけて行います。

幼児⇒鼻をつまみ、口をおおい、息を吹き込む。

乳児⇒口と鼻を一緒におおい、息を吹き込む。

胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を交互に行います。

AED(自動体外式除細動器)がある場合は合わせて交互に使用します。

こども救急電話相談室

夜間におけるこどものけがや病気への対応方法や受診について判断に迷うときにお気軽に電話で相談してください。

◆毎日 19:30～翌朝8:30

◆電話番号 # 8000
018(895)9900